

町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間延長と（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040への統合について

1 町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、町田市総合戦略）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、地域の実情に応じた5か年（2015～2019年度）の政策分野ごとの基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめたものです。町田市基本計画まちだ未来づくりプランと整合がとれるように策定されました。

町田市総合戦略とまちだ未来づくりプランとの関係

基本目標	施策の基本的な方向性	まちだ未来づくりプラン
1. 経済活動を盛んにする	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者や市民が活発に活動し、時代のニーズに応じたサービスを生み出せる環境をつくる 	III 賑わいのあるまちをつくる 1 経済活動が盛んなまちをつくる
2. 人々が交流するまちづくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○町田発の活動や文化が生まれる出会いと交流の場をつくる ○地域資源(みどり、商業、オープンスペース、大学、スポーツ等)を活かしてまちの魅力を高め、発信する ○多様な主体が協働して地域の課題を解決していく活動の支援を図る 	I 将来を担う人が育つまちをつくる 3 生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる II 安心して生活できるまちをつくる 3 地域で充実した生活を送れるまちをつくる III 賑わいのあるまちをつくる 1 経済活動が盛んなまちをつくる（活気ある商業空間をつくる） 2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる 3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を図る ○共働きでも仕事と両立しながら子育てしやすい環境をつくる ○若者が希望どおり子どもが持てる経済的安定を図る 	I 将来を担う人が育つまちをつくる 1 安心して、楽しく子育てができるまちをつくる 2 子どもが生きる力をほぐすまちをつくる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で充実した生活を送れるまちをつくる ○公共交通を強化し、誰もが移動しやすいまちをつくる ○多世代のコミュニティが充実した良好な住環境をつくる 	II 安心して生活できるまちをつくる 1 健康に生活できるまちをつくる 2 みんなが支え合うまちをつくる 4 安全に生活できるまちをつくる IV 暮らしやすいまちをつくる 1 誰もが移動しやすいまちをつくる 2 良好な住環境のまちをつくる 3 みどり豊かなまちをつくる 4 環境に配慮したまちをつくる
戦略的視点	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設の開放、適切な利用者負担により、多様な主体が協働して効率的、効果的にサービスを提供する ○様々な主体が協働して生活を豊かにする場やサービスを提供する 	行政経営基本方針 1 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む 3 いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

2 まち・ひと・しごと創生総合戦略についての国の動向

2018年12月21日に閣議決定された、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）」では、『地方公共団体においても、地方創生の深化に向け、切れ目ない取組を進めることが求められる。各地方公共団体において、現行の「地方版総合戦略」進捗状況を検証するとともに、各地域の実情を踏まえ、現行の「地方版総合戦略」の総仕上げと次期「地方版総合戦略」における政策課題の洗い出し等を進める必要がある。』としています。

3 町田市総合戦略の計画期間が終了するにあたっての対応

町田市では、市の現状や国の動向等を踏まえ、下記①～③の理由から現行の町田市総合戦略の期間を2021年度まで延長させるとともに、次期町田市総合戦略を、2022年度を初年度とする新しい基本構想・基本計画「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」へ統合することとします。

①現行の町田市総合戦略が、まちだ未来づくりプランと整合をとっているように、次期総合戦略についても(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040と整合をとる必要がある。しかし、2020年度から次期町田市総合戦略をスタートさせた場合、(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040と期間のずれが生じ、内容に整合が取れなくなる。

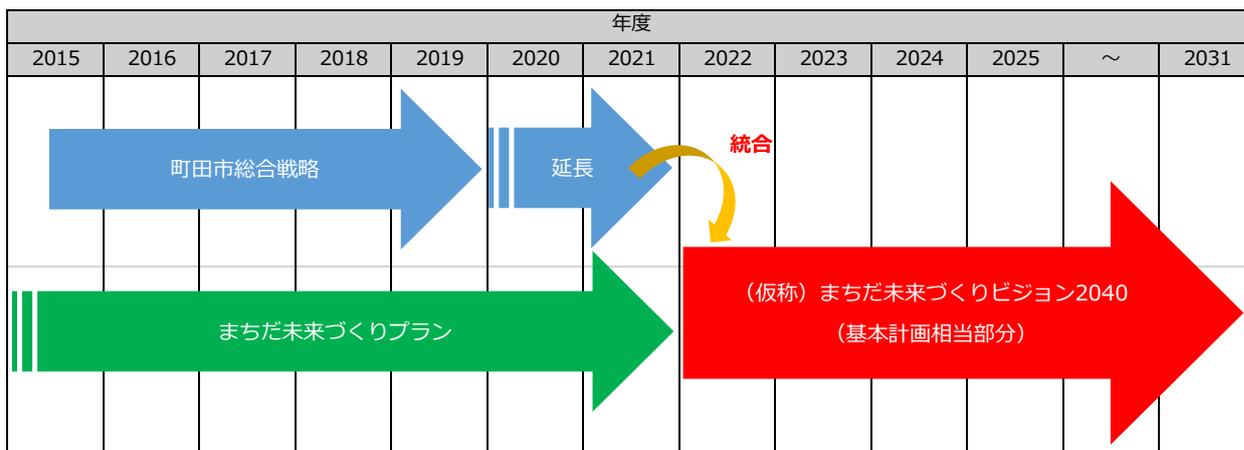
②内閣府が、総合計画等と地方版総合戦略の統合は可能であるとの見解を示している。

<参考：地方版総合戦略策定のための手引き（平成27年1月 内閣府地方創生推進室）>
 6-1 総合計画等と地方版総合戦略との関係
 総合計画等を見直す際に、見直し後の総合計画等において、人口減少克服・地方創生という目的が明確であり、数値目標や重要業績評価指標（KPI）が設定されるなど、地方版総合戦略としての内容を備えているような場合には、総合計画等と総合戦略を一つのものとして策定することは可能であると考えられます。

③統合することにより、町田市の計画体系をわかりやすくすることができる。

なお、統合にあたっては、(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040の基本計画相当部分に含めることから、統合後の計画期間は10年間を予定しています。

町田市総合戦略等の計画期間



4 計画期間延長に伴う変更

町田市総合戦略の計画期間を2021年度まで延長させることに伴い、各基本目標で掲げている「5年後の数値目標」は「7年後の数値目標」と読み替えるとともに、目標達成が見込まれる項目については新たな目標値を設定します。

また、重要業績評価指標（KPI）については、5ヵ年計画17-21の重点事業と内容が重複するものは、5ヵ年計画17-21に合わせていきます。

詳細は、以下のとおりです。

基本目標1 経済活動を盛んにする

■起業・創業の支援

具体的な施策	創業に必要な支援（個別相談、セミナーの開催）の実施	
	変更前	変更後
KPI	1年間に市内で起業した事業所の数	市内で起業した事業所の数
目標値	430件/年	450件/年
変更理由	5ヵ年計画17-21の目標値に合わせるため。	

■企業・事業所誘致の推進

具体的な施策	企業・事業所の立地を促進	
	変更前	変更後
KPI	誘致した企業・事業所数	1年間に誘致した企業・事業所数
目標値	16件	1件/年
変更理由	5ヵ年計画17-21の目標値に合わせるため。	

■ものづくり産業の支援

具体的な施策	中小企業者の販路拡大及び技術の向上の促進	
	変更前	変更後
KPI	①産業見本市出展補助件数	①産業見本市出展支援件数
目標値	12件/年	15件/年
変更理由	5ヵ年計画17-21の目標値に合わせるため。	

具体的な施策	中小企業者が生産する新規制の高い優れた商品の販路拡大の支援	
	変更前	変更後
KPI	新規認定商品の認定数	町田市トライアル発注認定商品数
目標値	35件	45商品
変更理由	5ヵ年計画17-21の目標値に合わせるため。	

■ 商店街の活性化支援

具体的な施策	商店会などが実施するイベントや活性化事業に対する支援	
	変更前	変更後
K P I	①商店会等のイベント事業実施件数	①商店会などのイベント事業件数
目標値	50 件／年	45 件／年
変更理由	5 ヶ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

■ 農業事業者の経営の支援

具体的な施策	農畜産物の増産に向けた取り組みへの支援、担い手の確保・定着に向けた支援	
	変更前	変更後
K P I	年間支援件数	都市農業活性化支援事業実施件数
目標値	2 件／年	1 件／年
変更理由	5 ヶ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

基本目標 2 人々が交流するまちづくりを推進する

■ 文化芸術活動の振興

■ 良質な文化芸術にふれる機会や場の提供

具体的な施策例	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック文化プログラムを策定し、文化イベントを実施 ・来街者が多様な楽しみや感動を味わうことができるような取り組み及び新たな文化拠点を創出 ・地方における共生社会の実現に向けたユニバーサルデザインの取り組みを加速【追加】
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック文化プログラム推進事業 ・工芸美術館整備事業 ・文化芸術ホール整備事業 ・芸術文化イベント推進事業 ・芹ヶ谷公園整備事業【追加】 ・未来づくりプロジェクト推進事業【追加】
変更理由	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック終了後を見据えた取り組みを行う必要があるため。 ・芹ヶ谷公園芸術の杜が良質な文化芸術にふれる場となるため。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■多様な保育・幼児教育の充実

具体的な施策	駅前を送迎保育ステーションを設置	
	変更前	変更後
K P I	年間延べ利用者数	年間延べ利用者数
目標値	1,000 人	5,000 人
変更理由	5 ヶ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

■5年後の数値目標

指標名	治安が良いと感じる市民の割合	
	変更前	変更後
目標値	50.0%	57.0%※
変更理由	2019 年度で目標を達成する見込みのため。	

※現在改定中の町田市安全安心まちづくり推進計画の数値に合わせます。

■市民の防災意識の向上

具体的な施策	市民の自主的な活動の核となる自主防災組織のリーダーの育成及び自主防災組織の災害対応能力の向上	
	変更前	変更後
K P I	自主防災組織リーダー及びフォローアップ講習会参加者数	自主防災組織リーダー及びフォローアップ講習会修了者数
目標値	400 人	130 人
変更理由	5 ヶ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

■災害への備えの強化

具体的な施策	マンホールトイレの整備促進	
	変更前	変更後
K P I	マンホールトイレ設置個所数	マンホールトイレ設置施設数
目標値	36 箇所	48 施設
変更理由	5 ヶ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

■防犯対策の推進

具体的な施策	体感治安の改善・市民の防犯意識の向上	
	変更前	変更後
K P I	協働パトロール隊パトロール回数	協働パトロール隊パトロール回数
目標値	56回／年	48回／年
変更理由	5ヵ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	

■多様な住まいを確保する

具体的な施策	安心して快適に住み続けられる住宅づくりの支援、団地の生活環境の充実	
	変更前	変更後
K P I	町田市団地再生基本方針の推進	団地再生に向けた取り組みを行っている団地数
目標値	推進	8団地
変更理由	5ヵ年計画 17-21 の目標値に合わせるため。	